

あけましておめでとうございます

…というタイトルから始まりましたが、もう新年になってから1か月くらいたつですね。遅ればせながら、今年はどうぞよろしくお願ひいたします。ちなみに日本の『年賀状』ですが、ヤンゴンに届くことが判明しました！私の同僚(3年目)のところに毎年届いています。そうです。面白ううなので、来年はこちらから送ってみようかなどとも画策しています。

さて、現在のこちらの生活ですが、2日前に『運動会』が終了しました。乾季になると雨季とは違い、雲ひとつない澄み渡る青空が広がります。その青空のもと、開・閉会式を含め全 20 種目の競技・演技を『午前中のみで！』行いました。下校バスの関係があるので、お弁当などなく競技を圧縮してやるのですね。日本にいた頃も雨天時などにプログラムを圧縮してやったことはあったのですが、それにも勝る展開の速さ。職員会議では「スケジュールの遅延の無いように！」感がハンパなく、勉強になりました。ちなみに今日は振り替え休日。明日から学校再開のですが、来週の木・金に中学部1・2年生の学年末試験が控えており、運動会練習で遅々として進んでいなかった授業を進め、そして理科＆技術のテストづくりをしなければなりません。タイトな日程で進めていくのでなかなか大変ですが、頑張りたいと思います。

そんな中みなさんにお届けする情報ですが…やはり新年ですので、ミャンマーの元日近辺の話をしたいと思います。第1号で書いたように、ミャンマーの新年は4月中旬の『ティンジヤン後』です。ですので『そんなに激しく祝うことはないのかな！？』とかをくくっていたのですが、そんなことは全然ありませんでした。12/30 にヤンゴン最大のシュエダゴンパゴダ近辺を通るとテントの列。「これなあに？」と我が家家のドライバーに聞いてみると「元旦にはポンジー(日本でいう「僧侶」)がみんなシュエダゴンパゴダにやってきてお祈りをささげるんだ。だからポンジーのためにみんなでご馳走をふるまうのに、テントを立てて準備してるんだよ」とのこと。ちなみに今まで何もなかったところに門を作り、それで徳を積んでいる人もいました。さすがミャンマー、色々な形で徳を積むのですね。その意識の高さにびっくりです。ちなみにシュエダゴンパゴダ近辺の道路ですが、大晦日＆元旦はポンジーや参詣客であふれかえるため車の通行禁止。完全歩行者天国になりました。やはり日本もミャンマーも年の初めは『お参り』から始まるのですね。

我が家も参詣しようと2日夜にパゴダに行ったのですが、この日は駐車場がポンジーに解放されていて使えなかつたため、あえなく帰宅。明けて3日の午前に参詣してきました。服装はミャンマーの民族服『ロンジー』です。男物は筒状になった下だけ、女性物は上下です。お店で既製品も買えますが、大体の人は布を買い、それを仕立て屋さんに持つて行ってオーダーメイドを作るそうです。うちの妻も喜んで作りに行き、総額 26,000 チヤット(≈2,600 円)と激安でした。

パゴダに参詣する前は入口の店で花を買います。日本では『お賽銭』ですが、ミャンマーではこの『花』をお供えします。そしてパゴダの境内へ。色々なところでポンジーがお祈りをささげる中、人だかりができていたのはお供えの場所。ミャンマーには「八曜日(月・火・水午前・水午後・木・金・土・日)」という占星術がありとても浸透しています。ですので、パゴダでお供えする時もそれぞれ自分の生まれた曜日で行います。ここのサイトで簡単に調べられますので、もしみなさんも興味があったら試してみてください。[\(http://www.mitsuiwa.co.jp/fortune_telling/\)](http://www.mitsuiwa.co.jp/fortune_telling/) お花を供えて、その後お供えの場所にあるコップでお釈迦さまやその曜日を象徴する獣の像に水をかけ、そしてお祈りを捧げます。日本で体験したことはないのですが、灌仏会の甘茶かけに似ているなと思いました。水をかけ、お祈りをし、パゴダのお釈迦様に家族の健康と安全をお祈りしてきました。今年も頑張りたいと思います。

それではまた来月、こちらでの生活(次号はこちらの『結婚式』です！)を報告します。

